

ワクチン接種について

行財政・新型コロナウイルス感染症等
危機管理対策特別委員会 資料1-4
令和3年(2021年)10月6日(水)
健康医療福祉部

一般向けワクチン接種状況

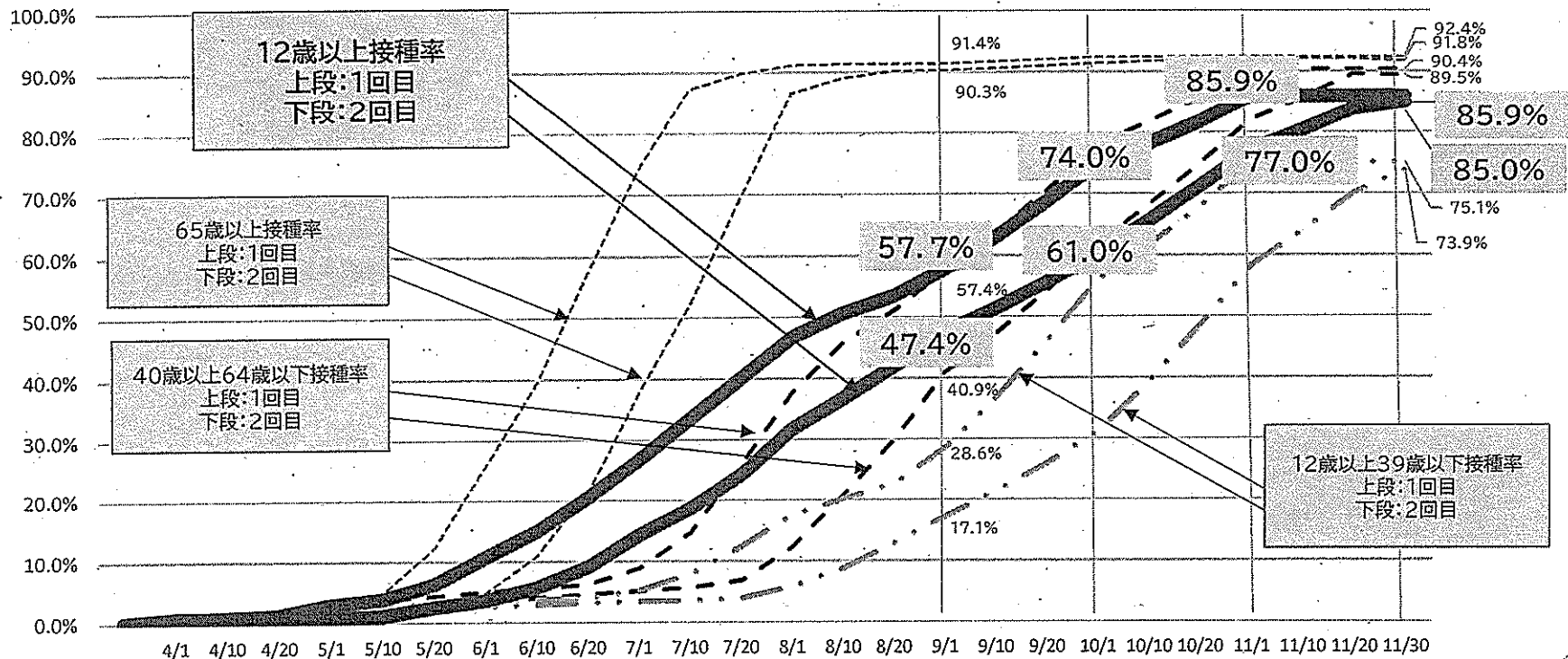
1回目接種済人数	全年代	952,384人	67.1%
	接種対象者	952,384人	75.3%
	12-39歳	248,180人	58.6%
	40-64歳	361,997人	76.7%
	65歳以上	342,207人	92.4%

令和3年10月5日0時まで ワクチン接種状況ダッシュボードから

2回目接種済人数	全年代	794,633人	56.0%
	接種対象者	794,633人	62.8%
	12-39歳	151,766人	35.9%
	40-64歳	304,397人	64.5%
	65歳以上	338,470人	91.4%

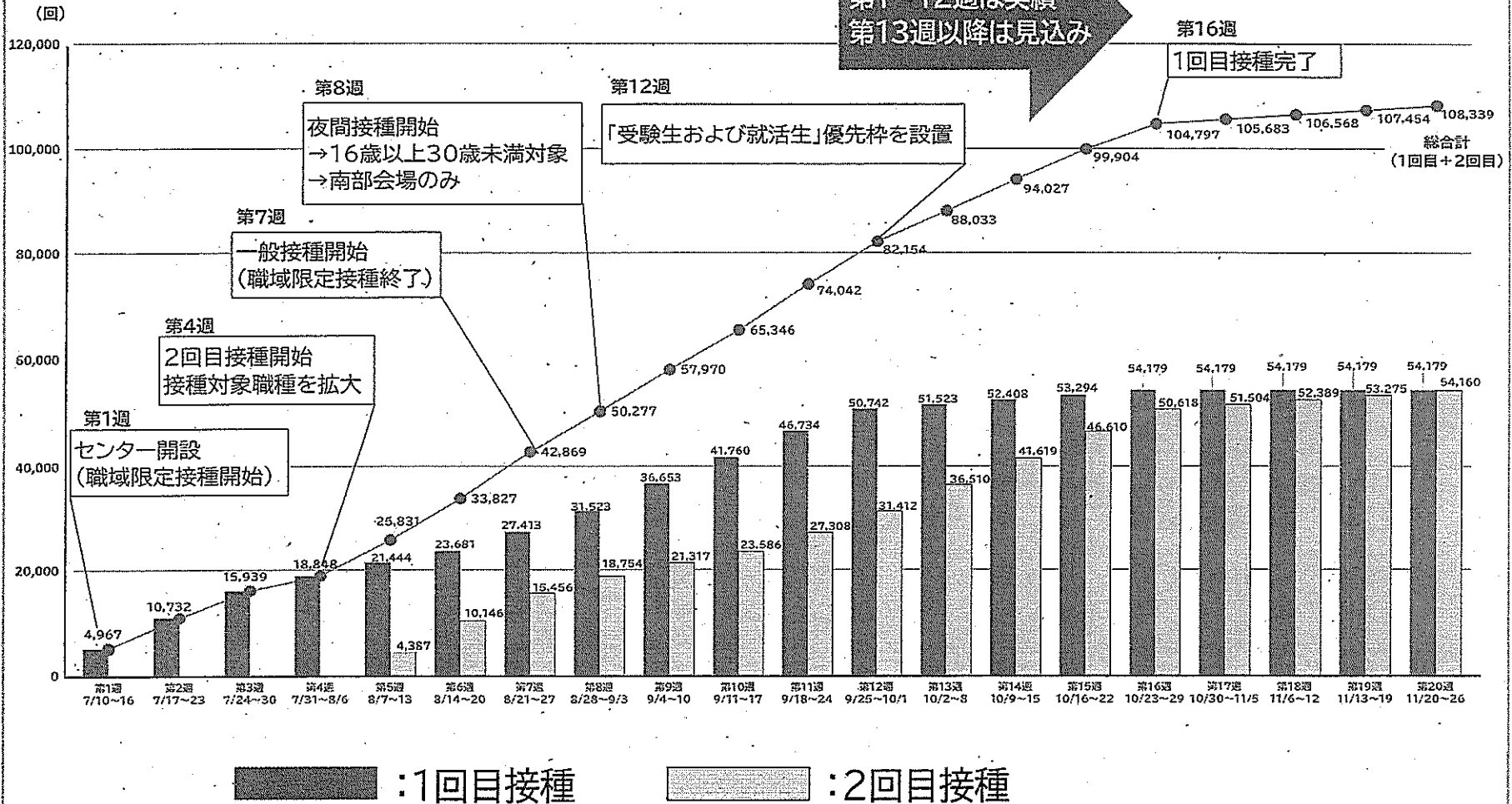
※上記の接種人数には医療従事者等優先接種者数は含んでいない。

年齢区分別接種率の見込み



広域ワクチン接種センターについて

接種の実績と見込み



ワクチン接種の副反応について

副反応疑い報告数

○ワクチン接種は、体内に異物を投与し免疫反応を誘導し、感染症に対する免疫を付与すること目的として行われるため、効果とともに、副反応が生じうる。

○本県の医療機関から、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)に『新型コロナワクチンの接種後の副反応疑い』として報告がなされたものとして、厚生労働省から県に情報提供があったものを集計。

○ワクチン接種後には、接種と因果関係のない偶発的な事象も生じるが、因果関係が不明な場合も含めて、副反応を疑う事例として広く収集し、評価の対象としている。

令和3年10月4日現在

	副反応疑い報告数			代別	
		うち重篤		64歳以下	65歳以上
			うち死亡		
男性	56	24	10	38	18
女性	118	35	3	84	34
不明	0	0	0	0	0
合計	174	59	13	122	52

※ 死亡の13例すべてについて、医療機関からはワクチン接種との因果関係が評価不能と報告されている。

専門相談窓口 相談件数

医療機関からのワクチンに関する専門的な問い合わせや、県民からのワクチンの副反応、効果等について、市町での対応が困難な相談に対応するための窓口を設置

総件数		手段内訳			内容内訳			
		電話	FAX	メール	接種後の副反応の相談	接種前の副反応の心配	副反応以外の医療に係る相談	その他
日中	25,165	25,033	21	111	7,325	4,052	2,141	11,647
夜間	4,716	4,707	0	9	3,212	292	679	533
合計	29,881	29,740	21	120	10,537	4,344	2,820	12,180

※1 日中...午前9時から午後6時まで、夜間(4/12から)...午後6時から午前9時まで

※2 その他...当窓口で本来対応すべき内容ではないワクチン接種に関する苦情や接種の予約など

令和3年3月1日～令和3年10月4日

ブースター接種(3回目接種)について

基本方針

2回接種を終了した者のうち、概ね8か月以上経過した者を対象に追加接種(3回目接種)を行う。

【9月17日開催 第24回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会】

○接種対象者

さらなる科学的知見や諸外国の対応状況を踏まえ判断する。

○追加接種の開始時期(予定)

令和3年12月～ 医療従事者等

○使用するワクチン

1回目・2回目に用いたワクチンと同一のワクチンを用いることを基本とする。

県と市町の役割

○県の役割

- ・接種に係る広域調整や進捗管理等の市町支援
- ・ワクチンの配分調整
- ・専門的相談体制の確保等

○市町の役割

- ・接種の実施体制の確保
- ・接種券一体型予診票の印刷・発送
- ・ワクチンの配分調整
- ・相談体制の確保等

予算

追加接種にかかる接種体制の確保に必要な費用は、地方負担が生じることのないよう、国が全額負担する方針のもと、必要な予算について今後措置する予定